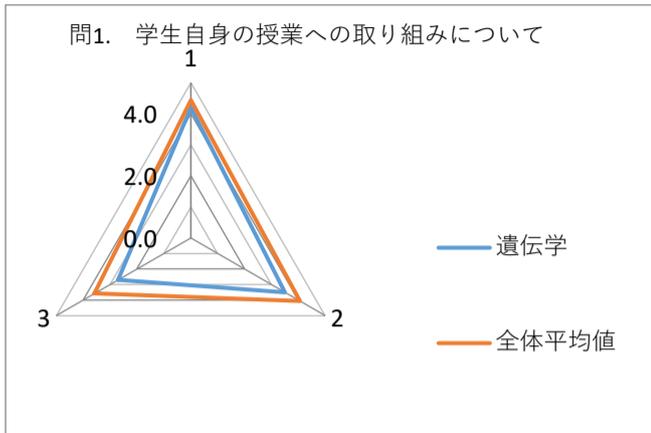


# 令和4年度第4学年前期「遺伝学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

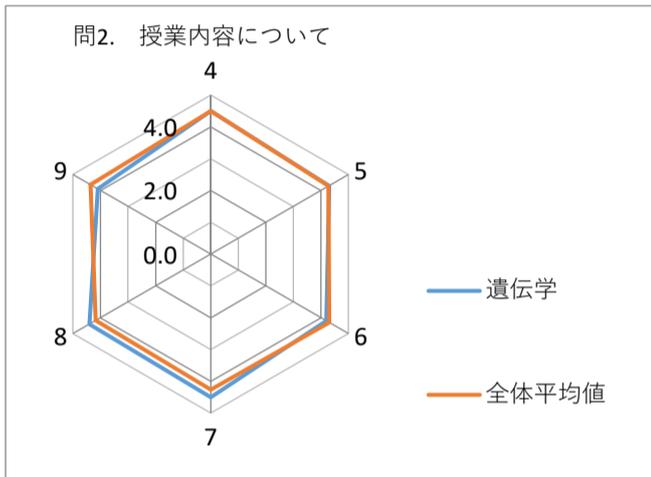
履修者数	回答者数	回答率
84	11	13%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)



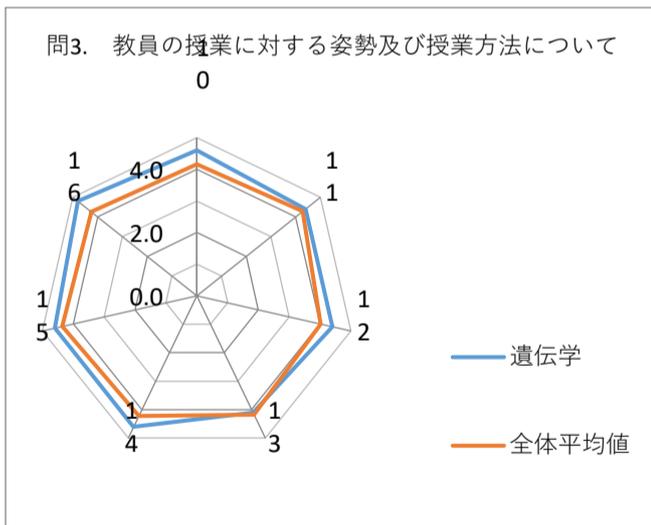
問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	遺伝学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.2	4.4	4.2	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.5	4.1	3.5	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	2.7	3.6	2.7	4.8



問2. 授業内容について

	遺伝学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.5	4.0	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.3	3.8	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.2	4.3	3.8	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.3	3.5	4.8
8 知的な好奇心が刺激された。	4.4	4.2	3.5	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.1	4.4	4.1	4.8



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

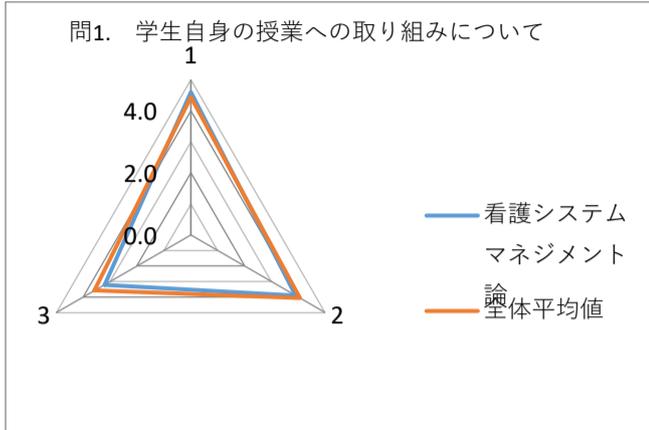
	遺伝学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.2	3.2	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.3	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.0	3.2	4.5
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.1	4.2	3.5	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.2	3.2	4.8
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.4	3.7	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.3	3.2	4.8

# 令和4年度第4学年前期「看護システムマネジメント論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

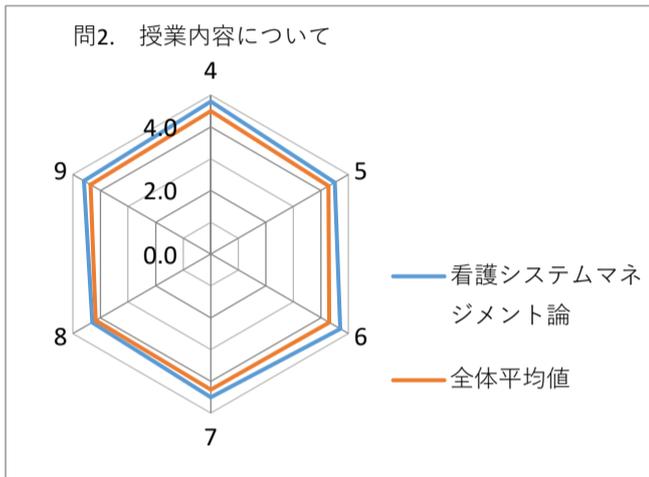
履修者数	回答者数	回答率
84	20	24%

実施時期(令和4年5月24日～令和4年5月26日)



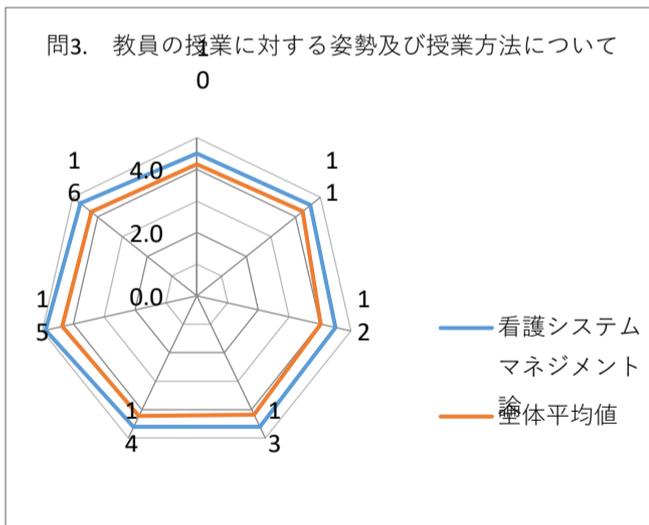
問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護システムマネジメント論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.4	4.2	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.9	4.1	3.5	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	3.2	3.6	2.7	4.8



問2. 授業内容について

	看護システムマネジメント論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.5	4.0	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.3	3.8	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.3	3.8	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.3	3.5	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.3	4.2	3.5	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.4	4.1	4.8



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

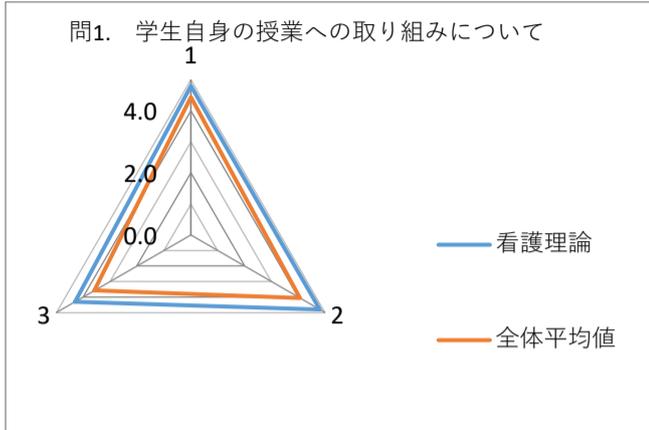
	看護システムマネジメント論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.2	3.2	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.3	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.0	3.2	4.5
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.2	3.5	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.2	3.2	4.8
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.4	3.7	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.3	3.2	4.8

# 令和4年度第4学年前期「看護理論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

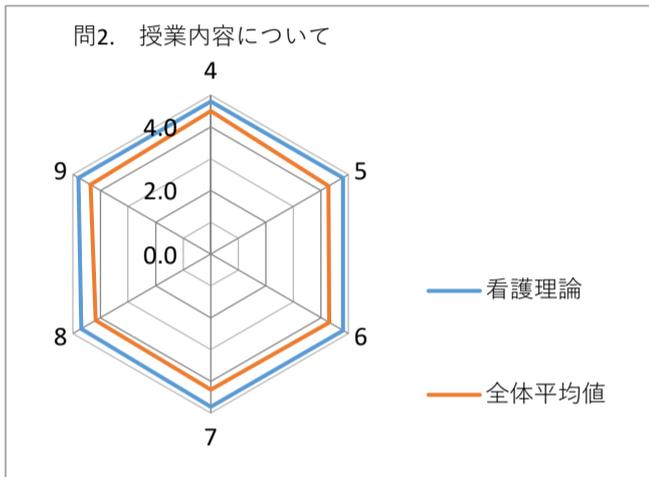
履修者数	回答者数	回答率
80	12	15%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)



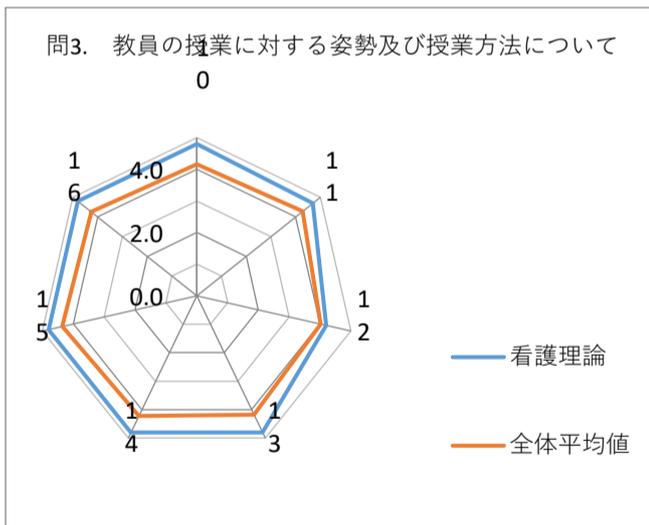
問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護理論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.4	4.2	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.1	3.5	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.3	3.6	2.7	4.8



問2. 授業内容について

	看護理論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.5	4.0	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.3	3.8	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.8	4.3	3.8	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.3	3.5	4.8
8 知的な好奇心が刺激された。	4.7	4.2	3.5	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.4	4.1	4.8



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

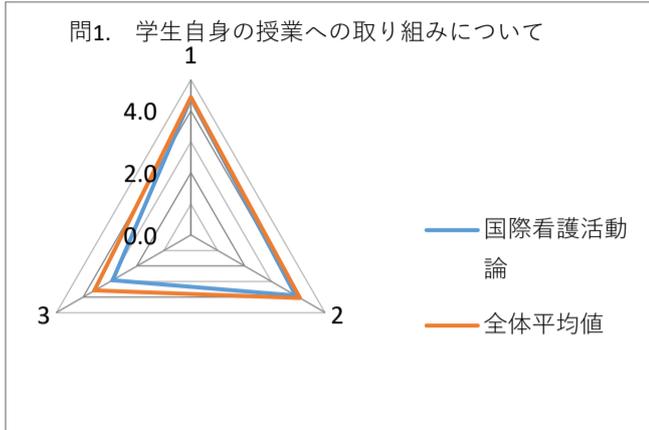
	看護理論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.2	3.2	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.3	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.0	3.2	4.5
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.2	3.5	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.2	3.2	4.8
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.4	3.7	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.3	3.2	4.8

# 令和4年度第4学年前期「国際看護活動論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

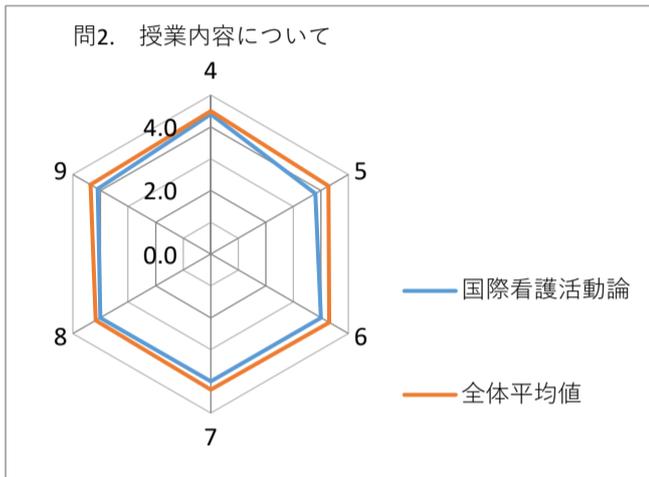
履修者数	回答者数	回答率
84	63	75%

実施時期(令和4年8月29日～令和4年9月4日)



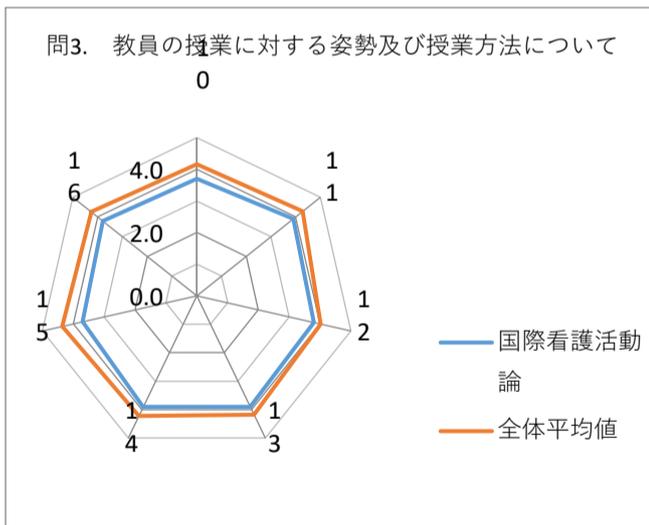
問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	国際看護活動論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.4	4.4	4.2	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.9	4.1	3.5	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	2.9	3.6	2.7	4.8



問2. 授業内容について

	国際看護活動論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.4	4.5	4.0	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.8	4.3	3.8	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.0	4.3	3.8	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.0	4.3	3.5	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.0	4.2	3.5	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.1	4.4	4.1	4.8



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

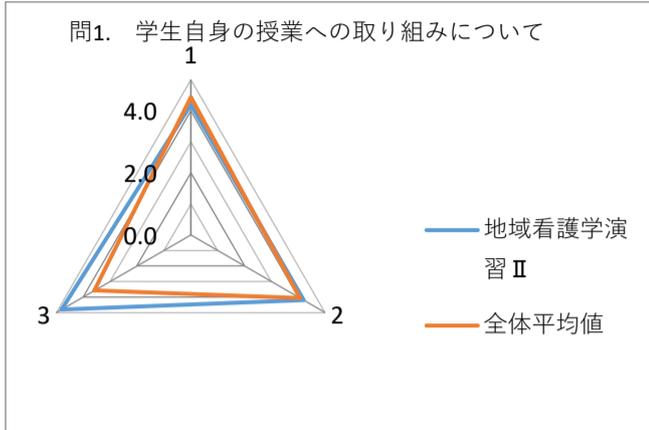
	国際看護活動論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.7	4.2	3.2	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3.9	4.3	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.8	4.0	3.2	4.5
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	3.9	4.2	3.5	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型 (Zoom) 授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	3.9	4.2	3.2	4.8
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	3.7	4.4	3.7	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3.8	4.3	3.2	4.8

# 令和4年度第4学年前期「地域看護学演習Ⅱ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

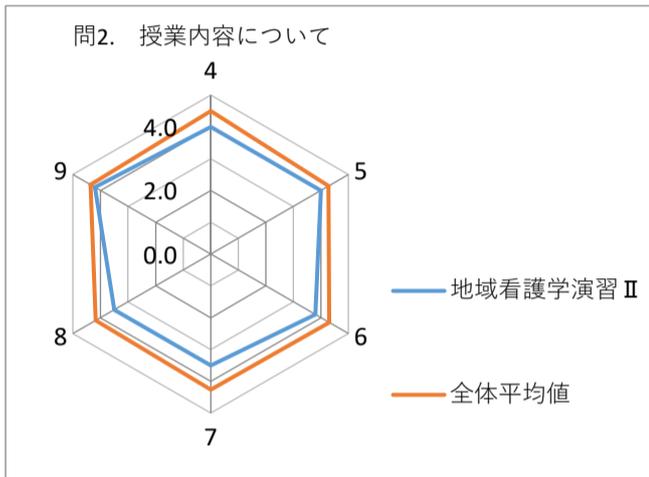
履修者数	回答者数	回答率
19	4	21%

実施時期(令和4年5月27日～令和4年5月29日)



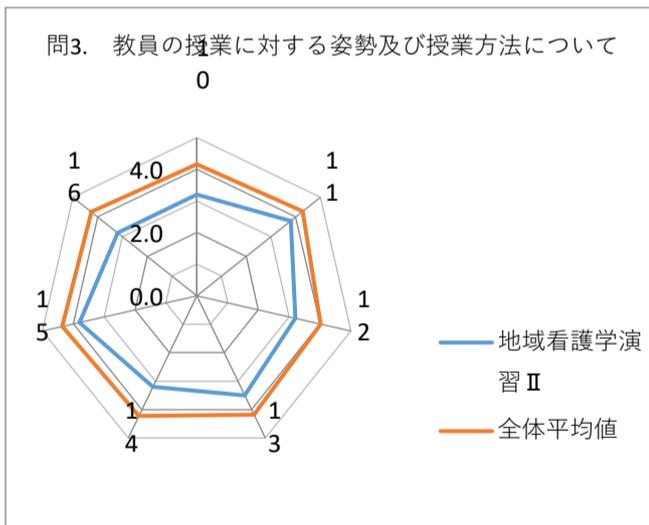
問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	地域看護学演習Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.2	4.4	4.2	4.8
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.1	3.5	4.8
3 教員に授業内容について質問した。	4.8	3.6	2.7	4.8



問2. 授業内容について

	地域看護学演習Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.0	4.5	4.0	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.3	3.8	4.8
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.8	4.3	3.8	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	3.5	4.3	3.5	4.8
8 知的な好奇心が刺激された。	3.5	4.2	3.5	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.2	4.4	4.1	4.8



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	地域看護学演習Ⅱ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.2	4.2	3.2	4.8
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3.8	4.3	3.8	4.7
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.2	4.0	3.2	4.5
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	3.5	4.2	3.5	4.8
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	3.2	4.2	3.2	4.8
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	3.8	4.4	3.7	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3.2	4.3	3.2	4.8

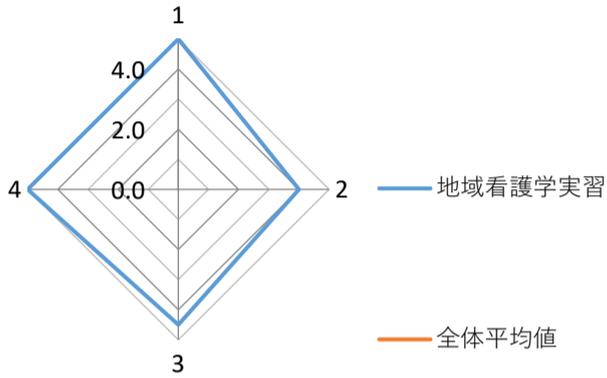
令和4年度第4学年前期「地域看護学実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
19	2	11%

実施日(令和4年7月22日～24日)

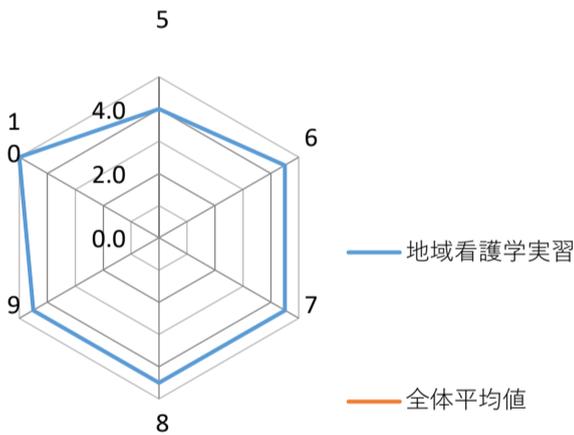
問1. 学生自身の実習への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	地域看護学実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 体調管理を行い、実習に臨んだ。	5.0	-	-	-
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組んだ。	4.0	-	-	-
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.5	-	-	-
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	5.0	-	-	-

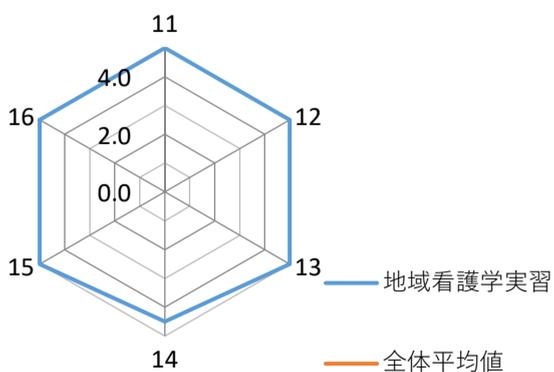
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	地域看護学実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てられていた。	4.0	-	-	-
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.5	-	-	-
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	4.5	-	-	-
8 課された実習記録や課題の量は適切であった。	4.5	-	-	-
9 看護への興味や関心が高まった。	4.5	-	-	-
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を習得できた。	5.0	-	-	-

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 指導体制・学習環境について

	地域看護学実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
11 教員の助言は、学習を進める上で役立った	5.0	-	-	-
12 教員は、質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した	5.0	-	-	-
13 教員と実習施設の連携が図られていた	5.0	-	-	-
14 実習に必要な資料や情報が入手できた	4.5	-	-	-
15 学生が安全に実習するために、適切な指導と配慮がなされていた	5.0	-	-	-
16 カンファレンスや学習の場・休憩室など、学生が使用できるスペースは配慮されていた	5.0	-	-	-

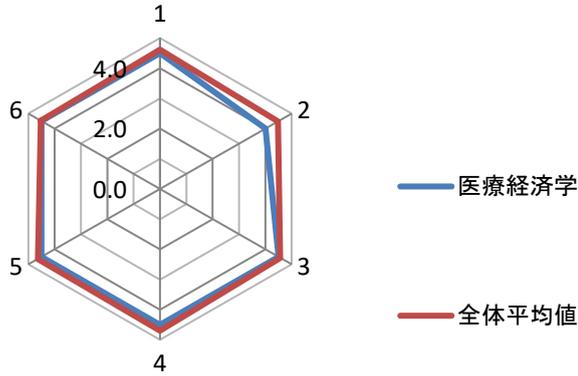
# 令和4年度 第4学年 後期「医療経済学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
3	2	67%

実施時期(令和4年11月21日～11月23日、11月30日～12月14日)

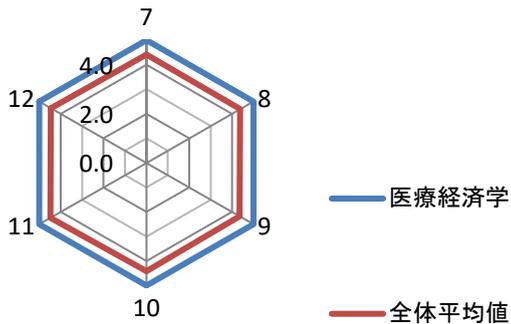
## 問1. 授業内容



## 問1. 授業内容

	医療経済学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.5	4.6	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.0	4.5	3.8	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.5	4.6	3.6	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.5	4.7	4.4	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.5	4.6	4.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.5	4.5	3.4	5.0

## 問2. 授業方法



## 問2. 授業方法

	医療経済学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.4	3.3	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.4	3.4	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.4	3.2	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.4	3.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5.0	4.5	4.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.5	3.7	5.0

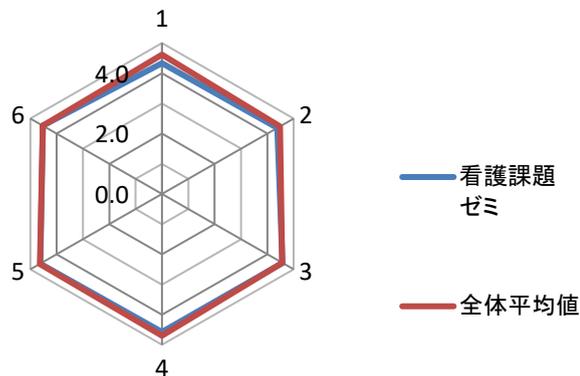
# 令和4年度 第4学年 「看護課題ゼミ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	21	24%

実施時期(令和4年11月30日～令和4年12月14日)

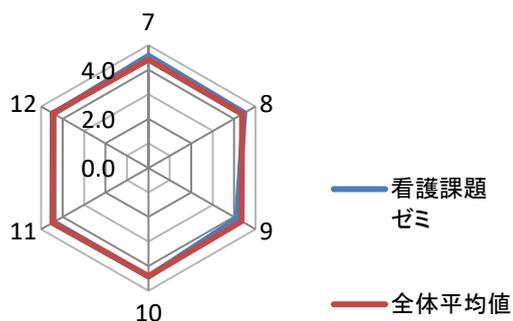
## 問1. 授業内容



## 問1. 授業内容

	看護課題ゼミ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.3	4.6	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.4	4.5	3.8	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.6	4.6	3.6	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.6	4.7	4.4	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.6	4.6	4.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.5	4.5	3.4	5.0

## 問2. 授業方法



## 問2. 授業方法

	看護課題ゼミ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.4	3.3	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.4	3.4	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.1	4.4	3.2	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.4	4.4	3.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.4	4.5	4.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.5	3.7	5.0

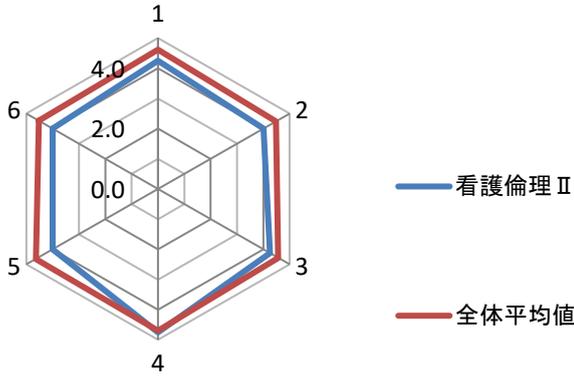
# 令和4年度 第4学年 後期「看護倫理Ⅱ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
15	4	27%

実施時期(令和4年11月15日～令和4年12月14日)

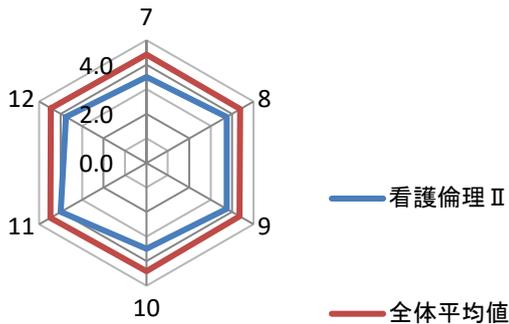
## 問1. 授業内容



## 問1. 授業内容

	看護倫理Ⅱ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.3	4.6	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.0	4.5	3.8	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.3	4.6	3.6	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.8	4.7	4.4	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.0	4.6	4.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.0	4.5	3.4	5.0

## 問2. 授業方法



## 問2. 授業方法

	看護倫理Ⅱ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.5	4.4	3.3	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	3.8	4.4	3.4	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3.8	4.4	3.2	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	3.5	4.4	3.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.0	4.5	4.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3.8	4.5	3.7	5.0

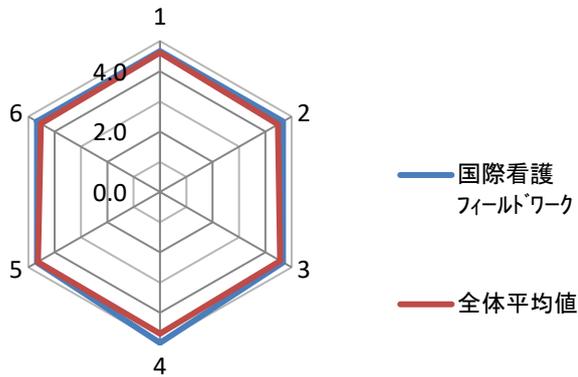
# 令和4年度 第4学年 「国際看護フィールドワーク」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
6	3	50%

実施時期(令和4年10月24日～10月26日、11月30日～12月14日)

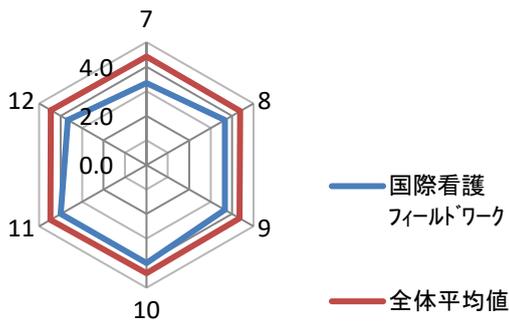
## 問1. 授業内容



## 問1. 授業内容

	国際看護 フィールドワーク	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.7	4.6	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.7	4.5	3.8	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.7	4.6	3.6	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5.0	4.7	4.4	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.7	4.6	4.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.7	4.5	3.4	5.0

## 問2. 授業方法



## 問2. 授業方法

	国際看護 フィールドワーク	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.3	4.4	3.3	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	3.7	4.4	3.4	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3.7	4.4	3.2	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.0	4.4	3.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.0	4.5	4.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3.7	4.5	3.7	5.0

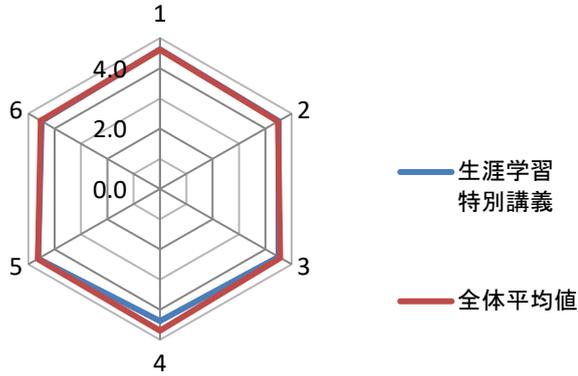
# 令和4年度 第4学年 「生涯学習特別講義」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
84	8	10%

実施時期(令和4年11月30日～令和4年12月14日)

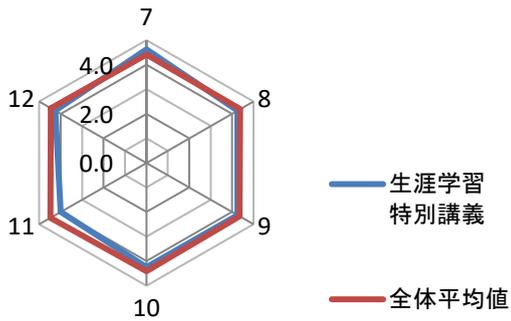
## 問1. 授業内容



## 問1. 授業内容

	生涯学習特別講義	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.6	4.6	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.5	4.5	3.8	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.5	4.6	3.6	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.4	4.7	4.4	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.6	4.6	4.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.5	4.5	3.4	5.0

## 問2. 授業方法



## 問2. 授業方法

	生涯学習特別講義	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.4	3.3	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.3	4.4	3.4	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.3	4.4	3.2	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.3	4.4	3.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.0	4.5	4.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.3	4.5	3.7	5.0

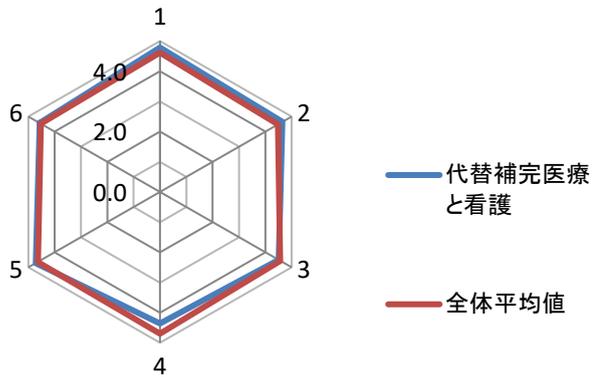
# 令和4年度 第4学年 後期「代替補完医療と看護」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
72	14	19%

実施時期(令和4年10月31日～10月26日、11月30日～12月14日)

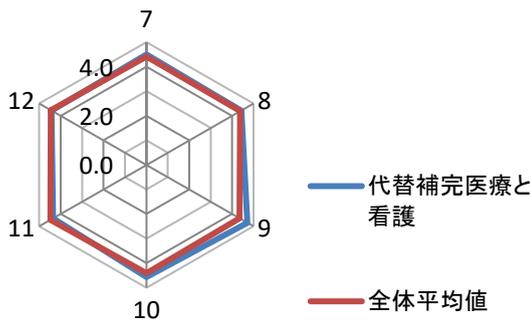
## 問1. 授業内容



## 問1. 授業内容

	代替補完医療と看護	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.8	4.6	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.6	4.5	3.8	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4.5	4.6	3.6	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.4	4.7	4.4	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.7	4.6	4.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	4.6	4.5	3.4	5.0

## 問2. 授業方法



## 問2. 授業方法

	代替補完医療と看護	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.4	3.3	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.4	3.4	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.7	4.4	3.2	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.6	4.4	3.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.4	4.5	4.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.5	3.7	5.0

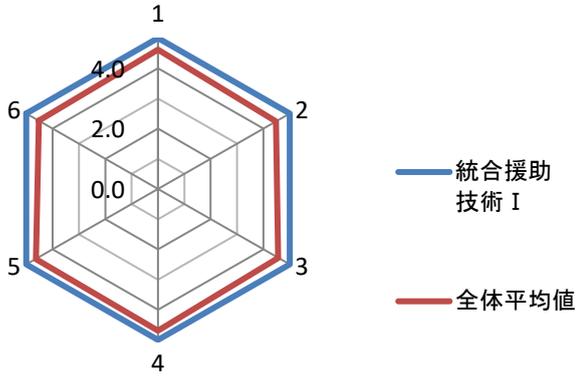
# 令和4年度 第4学年 後期「統合援助技術 I」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
36	1	3%

実施時期(令和4年12月15日～令和4年12月18日)

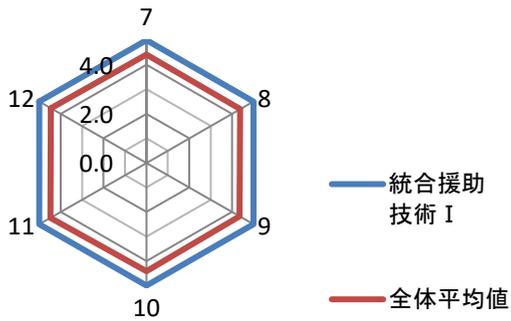
## 問1. 授業内容



## 問1. 授業内容

	統合援助技術 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.6	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	5.0	4.5	3.8	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5.0	4.6	3.6	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5.0	4.7	4.4	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5.0	4.6	4.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	5.0	4.5	3.4	5.0

## 問2. 授業方法



## 問2. 授業方法

	統合援助技術 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.4	3.3	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.4	3.4	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.4	3.2	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.4	3.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5.0	4.5	4.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.5	3.7	5.0

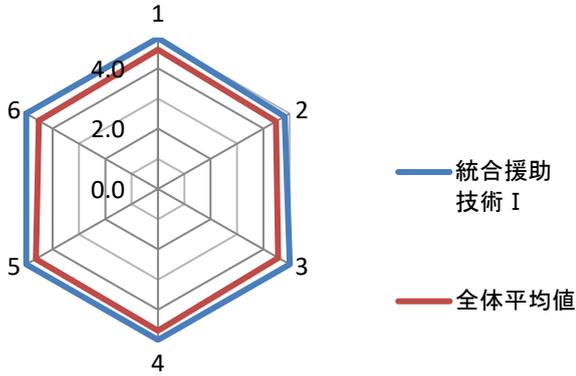
# 令和4年度 第4学年 後期「統合援助技術Ⅱ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
23	5	22%

実施時期(令和4年12月8日～令和4年12月14日)

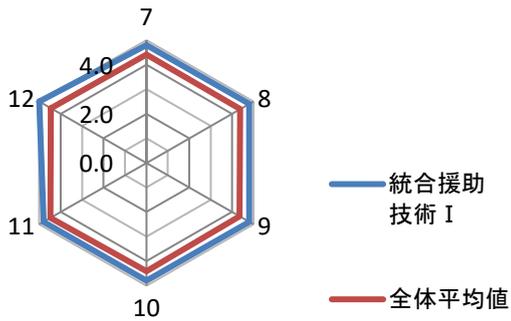
## 問1. 授業内容



## 問1. 授業内容

	統合援助技術Ⅰ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.6	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	4.8	4.5	3.8	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5.0	4.6	3.6	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5.0	4.7	4.4	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5.0	4.6	4.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	5.0	4.5	3.4	5.0

## 問2. 授業方法



## 問2. 授業方法

	統合援助技術Ⅰ	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.4	3.3	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.4	3.4	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4.8	4.4	3.2	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4.8	4.4	3.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.8	4.5	4.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.5	3.7	5.0

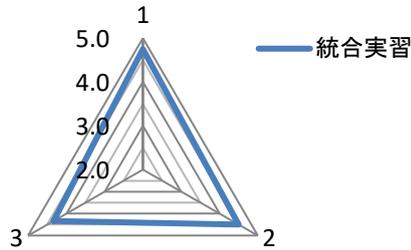
# 令和4年度 第4学年 「統合実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
85	12	14%

実施時期(令和4年10月24日～10月26日、11月30日～12月14日)

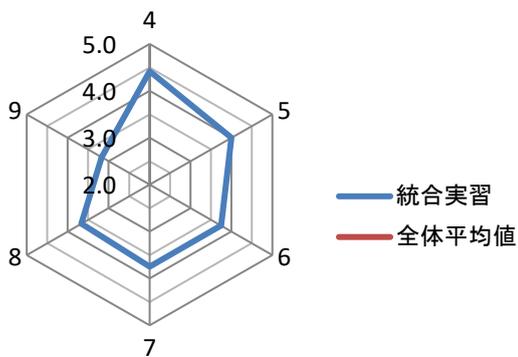
## 問1. 実習内容



## 問1. 実習内容

	統合実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	4.8		—	—
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.5		—	—
3 実習内容は満足のできるものであった。	4.3		—	—

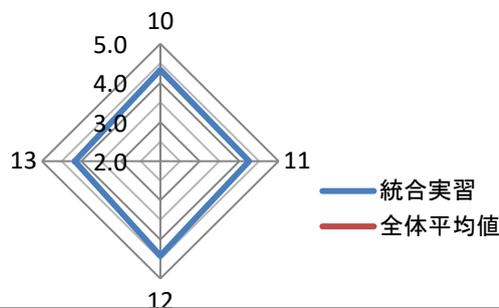
## 問2. 実習方法



## 問2. 実習方法

	統合実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 実習要項に沿って実習が進められた。	4.4		—	—
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	4.0		—	—
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	3.8		—	—
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	3.8		—	—
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	3.7		—	—
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	3.2		—	—

## 問3. 実習施設



## 問3. 実習施設

	統合実習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	4.3		—	—
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	4.3		—	—
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	4.4		—	—
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	4.2		—	—

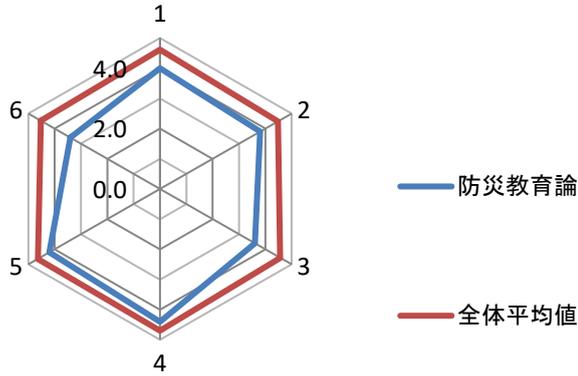
# 令和4年度 第4学年 後期「防災教育論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
46	5	11%

実施時期(令和4年11月5日～11月19日、11月30日～12月14日)

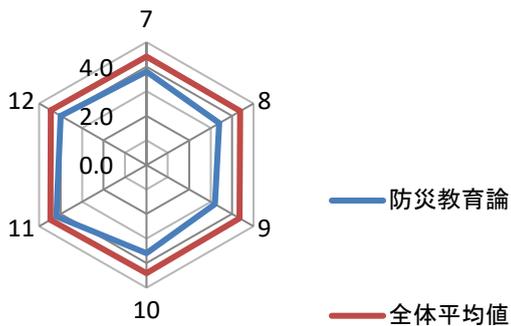
## 問1. 授業内容



## 問1. 授業内容

	防災教育論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	4.0	4.6	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	3.8	4.5	3.8	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3.6	4.6	3.6	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	4.4	4.7	4.4	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4.2	4.6	4.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	3.4	4.5	3.4	5.0

## 問2. 授業方法



## 問2. 授業方法

	防災教育論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.8	4.4	3.3	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	3.4	4.4	3.4	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3.2	4.4	3.2	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	3.6	4.4	3.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4.2	4.5	4.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.0	4.5	3.7	5.0

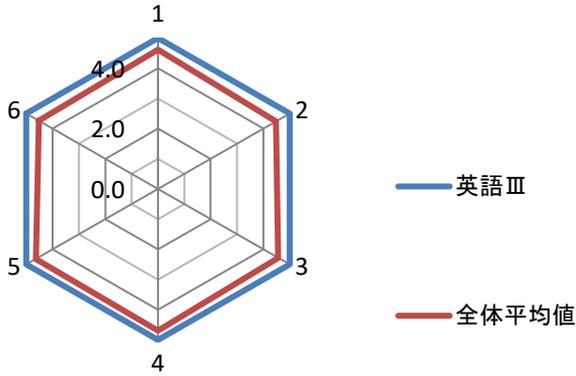
# 令和4年度 第4学年 後期「英語Ⅲ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
2	2	100%

実施時期(令和4年11月28日～11月30日)

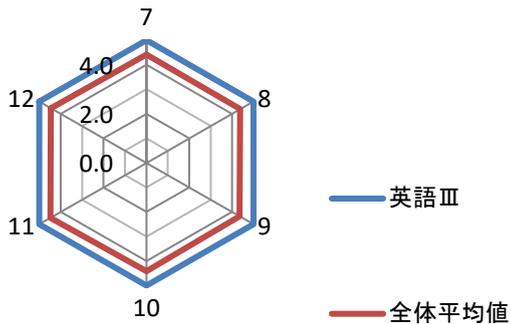
## 問1. 授業内容



## 問1. 授業内容

	英語Ⅲ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って授業が進められた。	5.0	4.6	4.0	5.0
2 授業内容は理解できるものであった。	5.0	4.5	3.8	5.0
3 授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5.0	4.6	3.6	5.0
4 自主性をもって学習することができる内容であった。	5.0	4.7	4.4	5.0
5 授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5.0	4.6	4.0	5.0
6 授業内容は満足のできるものであった。	5.0	4.5	3.4	5.0

## 問2. 授業方法



## 問2. 授業方法

	英語Ⅲ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
7 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.4	3.3	5.0
8 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.4	3.4	5.0
9 教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5.0	4.4	3.2	5.0
10 授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5.0	4.4	3.5	5.0
11 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5.0	4.5	4.0	5.0
12 学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.5	3.7	5.0